目 次

自然科学						
男子生徒の体重分布に見られる統計的性質について			國仲	寛人	(1 -	- 7)
実体顕微鏡レベルの観察に適したモバイル顕微鏡の開発とその有限	用性					
後藤太一郎	・式井	俊•	前田	昌志	(9 -	- 14)
比較明合成撮影によるゲンジボタルの幼虫の上陸活動及び羽化の	観察					
松岡 守・川添 昭夫・小林 久夫・	桝重	純登・ホ	i 田村	道男・		
新宮正士	竹村	一雄•	吉澤	伸	(15 -	- 22)
ハイフレックス授業用設備の使い方			山守	一徳	(23 -	- 30)
人文科学						
ヒュームの因果論と帰納の問題の出現-因果性の形而上学から認識	識論への)転回-	-			
			秋元で	ろと	(31 -	- 59)
石牟礼道子の降り立つ「書く」境位-乳幼児期の世界と「言葉」	忌避の意	「味 ー				
			松本	昭彦	(62 -	- 74)
社会科学						
教員養成段階における日本語教育の取組一地域の特性との関連一						
	• 伊藤	晴苗・	林	朝子	(75 -	- 81)
ロシア中央軍事博物館にみる軍事博物館の国民統合機能について						
-軍事博物館の政治的機能に関する考察のための覚書			馬原	潤二	(83 -	- 101)
運動部活動への関わり方が三重大学生に及ぼす影響について			大隈	節子	(103 -	- 110)
緑茶の嗜好についての調査アンケートの集計と簡単な分析			萩原	克幸	(111 -	- 118)
学生の調理操作に対する認知度と自信度の在学中の変化						
平島 円	• 磯部	由香・	堀	光代	(119 -	- 124)
いじめ被害を見聞きした第三者による教師への援助要請行動を抑制	制する要	更因の探	索的模	討		
	後藤	綾文•	南	学	(125 -	- 131)
子育てにおける「男の子らしさ・女の子らしさ」をめぐる母親のヌ	葛藤とタ	応				
-子育て SNS の相談トピックの分析と母親へのグループインタビ	`ューか	5-				
	園部為	え里恵・	相良	好美	(133 -	- 142)
教育科学						
同分母分数のたし算に関する一考察 $-\frac{3}{10} + \frac{4}{10} = \frac{7}{20}$ はまちがいな	このか —		中西	正治	(143 -	- 150)
占領下における新制高等学校用数学教科書の成立	-		. —		ζυ	-50)
「GHQ/SCAP 文書」からその編集過程を読み解く			田中	伸明	(151 -	- 162)
小学校の教職員におけるインクルーシブ教育実践の現状と課題			<i>—</i> '	11 /4	\-v-	- v -)
	清都	康雄•	菊池	紀彦	(163 -	- 168)
大人のありそうもない話に対する幼児の反応						

体験教育学にもとづく「社会への開かれ」の射程			
- 「国家の市民」と「世界の市民」の連関から	伊藤	敏子	(183 - 195)
現代の若者の価値観とその分類に関する方法	南	学	(197 - 201)
コロナ禍で大学生のソーシャルサポートは変化したのか			
- 2020年9月・2021年1月・4月にわたる縦断的調査 上田 仁・	松浦	均	(203 - 208)
授業をつくる・授業を診るための動機づけマトリックスの提案			
	中西	良文	(209 - 228)
保護者の意識変容の条件となる学級通信			
-「共通関心」形成は教師のいかなる記述によって促されるか-	大日方	真史	(229 - 237)
「納得」のある授業反省会の条件について			
ーよい授業に向けての「発問」の検討事例を通して	市川	則文	(239 - 247)
学校の危機対応にみる分散型リーダーシップ 織田 泰幸・雲尾 周・	鈴木	瞬	(249 - 269)
東紀州地域における複式版年間指導計画に基づく実践 - 「聞くこと」の学力調	查-		
大野 恵理・須曽野仁志・萩野 真紀・	榎本	和能	(271 - 274)
教育実践			
海外と結ぶオンライン書道の実践と課題 - タイ人日本語学習者を対象とした取	組から	, —	
林 朝子・シューショートケオ・	サラン	ヤー	(275 - 280)
社会参加におけるエンパワメント格差是正を目指したカリキュラム開発・実践			
一定時制高校での情報科・地理歴史科の教科連携を事例に			
	i原 禾	□博・	
石川 照子・北川 弘紀・	南	理恵	(281 - 296)
広い土地の農作業における機械使用の必要性に気付く生活科の授業			
-地域の人々との協働によるさつまいもづくりを通して- 永田 成文・	石田	智洋	(297 - 306)
SDGs を中核にした中学校におけるカリキュラム開発の実践的研究 Ⅱ			
-気候変動を学習領域とした「STEP」に関する分析を通して-			
松村 謙一・城所 拓磨・	新田	貴士	(307 - 326)
ICT を活用した幼児教育研修コンテンツの制作 一幼稚園教員の資質向上を目指	してー		
	i田美伯	保奈•	
湯田を養乃・吉田を恵・			(327 - 333)
探究するコミュニティが問題を科学的に解決する授業 - 「メダカの誕生」の授	業事例	<u> </u>	
前田 昌志・			
地域の幼稚園と教員養成学部の連携による環境教育の実践			(345 - 349)
体育の協同的学びにおけるボールゲームの発達過程:ネット型ゲームの実践事例			
若林 徳亮・岡野 昇・			
技術科教育におけるアクティブ・ラーニングに関する研究 魚住 明生・	畠	波輝	(363 - 372)
初等家庭科教育法における非同期型授業の学修成果と課題			
村田晋太朗・大本久美子・	岸田	蘭子	(373 - 381)
科学的リテラシーの育成を目指すカフェインを題材とした家庭科授業の実践			
中西 理紗・平島 円・荻原 彰・市			
村田晋太朗・後藤太一郎・	磯部	由香	(383 - 391)

障害児相談支援における多職種連携の成果と課題 -	-施行時	特例市	X市職	銭員への	の聞きほ	反り 調査	至から 一	
	犬飼	美帆•	清都	康雄・	濱田	匠	(393 —	397)
知的障害のある全盲児のための方向認知や探索行動を	を促進し	うるワ	ンタッ	プ教材	オアプリ	開発の	変遷	
			北村	京子・	菊池	紀彦	(399 —	403)
絵本からはじまる空想と現実との揺れ動きを楽しむ保	R 育実践	Š						
	富田	昌平•	石川	優・	岩附	啓子	(405 —	418)
安全委員会方式とトラウマインフォームドケア			加藤	千幸・	瀬戸美	美奈子	(419 —	423)
教職科目の授業におけるコンセプトマップの意義 -	-特別活	動に関	する学	生の覚	全習実愿	以に着目	してー	
					大日九	方真史	(425 —	435)
デジタルストーリーテリングを基本とした学習者によ	くる「つ	ぶやき	ショー	・トビラ	"オ」の)制作		
	須曽野	予仁志・	大野	恵理・	鈴木	理奈	(437 —	442)
教員の理論と実践についての一考察					栢森	和重	(443 —	452)
小学校における同僚性に基づいた教師間連携の研究			藤井	俊。	・栢森	和重	(453 -	465)
教職に魅力を感じる大学生は何が不安なのか								
- 1 年次必修「教職入門」受講者の自由記述分析か	から ー				園部為	え 里恵	(467 —	475)
「小中ギャップ」を乗り越える力に関する一考察								
一小中連携・小中一貫教育にむけたカリキュラムマ								
			•••••		大島	充代	(477 —	488)
JSL 対話型アセスメント「DLA」(四日市版)の作成。								
一外国にルーツをもつ児童生徒の「話す」「書く」。								
						英子	(489 —	504)
「伝え合う力」を育む国語科指導法の検討 -全員参							<i>(</i>	
			谷甲	聖子 '	・田邉	止明	(505 —	519)
心理的安全性を高める Wellbeing な職場を目指す研究			3. A	⊥ .±.	四2自	→	(501	526)
ーメニュー表を用いたミニ研修による対話を通して				本辛 '	' 田邉	止明	(521 —	536)
ストップモーション&ライフヒストリーインタビュー	-による) 授業研	究					
一中国人日本語教師の授業形成史研究一	편 . 4C-4	→ 11¥4./≡	E 1 . 31	: /rn /L	-1-17	71 π/	(527	551)
新話的事例シナリオ実践(高校教科福祉)における生						石平	(53/ —	331)
対面引事例クチザイ夫践(同代教科価性)における生						/津土	(552 —	550)
sense of agency を育てる振り返り実践の研究-子ども								339)
sense of agency を育てる版り返り夫践の明元一」とも								572)
高等学校におけるピア・レスポンスを活用した自由英				17 · NEX	**\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	庭人	(301	313)
同寺子(Xに400) ること・レスポンスを信用した自由失				盉,	本	健士	(575 —	500)
中学校複式学級における音楽科遠隔授業と支援 - Z								390)
新野 真紀・								594)
中学校における「主体的に学習に取り組む態度」に関					12/11	1000	(3)1	J) T)
一社会科と数学科の振り返りシートを事例にして一		тт/Л12	· ~ 1/11/1	•				
		雄司•	三山	善久。	新田	貴十	(595 —	613)